

明治生命 2001年度入社式 金子社長挨拶（要旨）

1. はじめに

われわれを取り巻く環境は、市場原理と自己責任原則に基づくグローバルな完全自由競争時代へ移行しつつある。そして21世紀の幕開けである今年、二度目の還暦となる創業120周年を迎える当社は、「今」を「第三の創業」ととらえ、「ライフアカウント L.A.」をはじめとする不断の革新により、生命保険事業の改革に取り組む時期と考える。

このような状況のもと、「総合生活設計・保障サービス産業（フィナンシャルランス）」として、生損保を含めた保険・年金、アセットマネジメント、医療・介護保障およびその周辺分野を事業領域とし、個人のライフステージと企業の多様なニーズに的確に応える信頼度の高い最新・最高の商品・サービスを提供していく。

2. 「新世紀・新創業計画」で3つの競争力優位を実現

金融システム改革が完了した「今」、コアとなる事業に経営資源を集中し、一方で戦略的提携によって新しい事業展開をしていく時代。このような認識のもと、当社は企業理念として「総合生活設計・保障サービス産業」を標榜し、「収益力・成長力優位」、「経営の健全性優位」、「人材優位」の3つの競争力優位を実現する。

そのために「ライフプランニング・サービス」、「トータル・サービス」、「パッケージ・サービス」、「先端チャネルによる先進サービス」という4つの新しい営業・サービスモデルを構築していく。

3. 新入社員に期待すること

- ・21世紀の「会社競争力」は、「人（職員）の力」と「IT活用力」が鍵となる。「人の力」とは、まさに皆さん一人ひとりが生み出すもの。
- ・明治生命と生命保険業界における明るく確かな未来を切り拓くことこそが、21世紀の初年に入社された皆さんのミッションである。先輩方に負けぬよう、存分に力を発揮していただきたい。
- ・「お客さま信頼度トップ」を実現するためにはどうすればいいかを常に考え、参画意識を持って新しい提案をしてほしい。同時に「ここなら誰にも負けない」という強み・専門性を身につけてほしい。
- ・今日からは皆さんも、明治生命の一員として、自分こそが21世紀の「主役」になるという気概を持って「イノベーション」の旗手となることを期待する。

以上